

## 令和3年度秋田の原風景を守り継ぐフォーラム 2021 in 横手 守ろう貴重な資源を、繋げよう次世代へ

11月22日、秋田県と秋田県多面的機能支援協議会は、秋田ふるさと村ドーム劇場において「秋田の原風景を守り継ぐフォーラム」を開催しました。平成27年度の第1回から3年に1度開催しており、今回が第3回目になります。このフォーラムは多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払交付金を実施している活動組織・協定等が一堂に会し、情報交換をすることで、自らの地域を見直し、新たな活動の取り組みや、今後の活動継続に役立てることを目的としています。



主催者挨拶



主催者挨拶 猿田副知事



会場風景



会場風景（観客）

フォーラムには、県内各地から、農用地等の保全や農村環境保全活動に取り組んでいる活動組織・協定の方々を中心に、約460名の参加がありました。併せて「秋田の原風景を守り継ぐ優良表彰」が行われ、県内の4活動組織と3集落協定に対して、それぞれ知事賞、協議会長賞、の表彰授与がありました。



記念写真



知事賞受賞 大久保農地保全隊(鹿角市)

特別講演では、全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子氏より、「中山間地域の振興について」と題し、日本の農山村のおかれている現状、中山間地域農業の課題と打開に向けて、そして農業地域における地域運営組織の展開について講演をいただきました。



特別講演



全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員 進藤金日子氏

基調講演では、秋田県生活環境部自然保護課ツキノワグマ被害対策センター、近藤麻実氏より、「環境整備でケモノに負けない集落づくり」と題し、集落農地の維持のための鳥獣対策として、クマ・ニホンジカ・イノシシなどのケモノから農地を守る方法について講演をいただきました。



基調講演



秋田県 生活環境部 自然保護課  
ツキノワグマ対策センター 近藤麻実氏

活動事例発表では知事賞を受賞された大久保農地保全隊から、模範となる取組事例を発表していただきました。



活動事例発表



大久保農地保全隊

参加者へのアンケートに協力をいただいた方ほぼ全員から、講演や事例発表が参考になったとの回答を得られ、「今後の取組の参考にしたい」、「今後もフォーラムを継続してほしい」といったコメントも多数寄せられました。

今後参加された皆様が他地域との情報交換や活動事例を参考にし、又、特別講演・基調講演を通じて、貴重な地域資源を守り次世代へ繋げていくための活動を展開していくことを期待します。